

令和6年度

モデルプランの案内

- ◆東京都教職員研修センターでは校内研修等のためのモデルプランを作成しました。
- ◆都教委訪問を検討する際に御活用ください。

- 【モデルプラン 1】 授業力の6要素と授業改善
- 【モデルプラン 2】 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善
- 【モデルプラン 3】 基礎学力の定着を図る「分かり方の特性」を生かした指導の工夫
- 【モデルプラン 4】 学校全体で取り組むカリキュラム・マネジメント
- 【モデルプラン 5】 一人1台の学習者用端末の効果的な活用
- 【モデルプラン 6】 小学校段階におけるプログラミング教育の推進
- 【モデルプラン 7】 学習者用デジタル教科書を活用した授業の理解と実践
- 【モデルプラン 8】 「特別の教科 道徳」の指導の充実
- 【モデルプラン 9】 高等学校における生徒の認知特性に応じた指導の工夫
- 【モデルプラン 10】 自尊感情や自己肯定感を高める教育の推進
- 【モデルプラン 11】 人権教育の効果的な推進と教職員に求められる人権感覚
- 【モデルプラン 12】 いじめの未然防止、早期発見・早期対応
- 【モデルプラン 13】 発達障害のある児童・生徒の理解と支援
- 【モデルプラン 14】 【新規】発達障害のある児童・生徒の実態把握に基づいた自立活動の指導の充実
- 【モデルプラン 15】 【新規】校内研修ガイドブックを活用した校内研修の改善

《訪問期間》

令和6年5月20日（月）から令和7年2月28日（金）まで

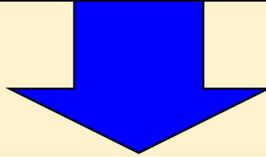


東京都教職員研修センター

申し込み方法

1

希望するモデルプランを選び、各担当課へ御連絡ください。



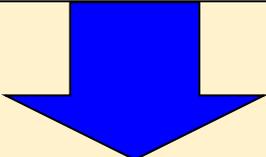
2

1 日時を調整してください。

- 候補の日時を複数用意していただいた上で、御相談ください。
- 訪問する指導主事等は、各担当課より御連絡いたします。

2 内容を御相談ください。

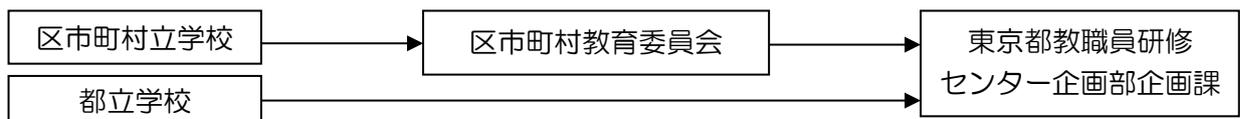
- 研修の内容について、希望があれば担当課と御相談ください。



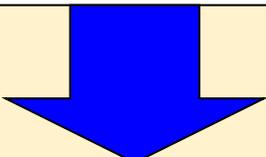
3

1 研修センターHP から、「【都教委訪問】申請書」をダウンロードしてください。

2 電子メールにて、以下の宛先に送信してください。



【申請先】 東京都教職員研修センター企画部企画課
e-mail : kikaku_homon@section.metro.tokyo.jp



4

申し込みは完了です。

- ・訪問が効果的に実施できるよう、訪問当日まで担当課と事前に調整を行ってください。
- ・訪問終了後、都教委訪問の事後アンケートに回答してください。



教員の授業力向上のために

【モデルプラン1】

授業力の6要素と授業改善

こんなとき

- 授業を改善するための視点を知りたい。
- 児童・生徒が主体となって学ぶ授業がしたい。
- 校内研究を活性化するための協議の方法を知りたい。
- 若手の授業改善に向けた助言・支援のポイントを知りたい。

研修内容

東京教師道場での授業研究の実践等を踏まえ、授業力の6要素（「使命感、熱意、感性」、「児童・生徒理解」、「統率力」、「指導技術（授業展開）」、「教材解釈、教材開発」、「『指導と評価の計画』の作成・改善」）を活用した授業改善を図るための具体的な方法について講義・演習等を通して学びます。

- ① 授業力の6要素
【講義】
- ② 授業改善を図るPDCAサイクル
【講義】
- ③ 授業力の6要素を活用した授業改善
【講義・演習】

各学校のニーズに応じて、必要な内容を組み合わせる構成することが可能です。
(最短研修時間 60分)

主な対象

小学校・中学校・義務教育学校
中等教育学校・高等学校・特別支援学校

《問合せ》

研修部授業力向上課
03-5802-2236

【モデルプラン2】

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善

こんなとき

- 児童・生徒の「主体的・対話的で深い学び」が実現できる授業がしたい。
- 指導や評価の工夫などの授業改善に継続的に取り組み、授業力を向上させたい。
- 実際の授業を通して、「主体的・対話的で深い学び」が実現できているのか知りたい。

研修内容

改訂された学習指導要領等を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」についての理解を深め、授業改善の視点や取り組み方を講義・演習等を通して学びます。

- ① 「主体的・対話的で深い学び」の基本的な考え方
【講義】
- ② 「主体的・対話的で深い学び」を実現させるための授業づくりについて
【講義・演習】

各学校のニーズに応じて、必要な内容を組み合わせる構成することが可能です。
(最短研修時間 60分)

主な対象

小学校・中学校・義務教育学校
中等教育学校・高等学校・特別支援学校

《問合せ》

研修部授業力向上課
03-5802-2236

教員の授業力向上のために

【モデルプラン3】 基礎学力の定着を図る「分かり方の特性」を生かした指導の工夫

こんなとき

- 多くの児童・生徒に基礎的・基本的な知識・技能などを確実に習得させたい。
- 児童・生徒一人一人の得意とする学び方や理解の仕方（「分かり方の特性」）について知りたい。
- 授業の中でどのような指導の工夫を図ればよいのか知りたい。

研修内容

平成 28 年度の教育課題研究「子供一人一人の『分かり方の特性』を生かした指導法に関する研究」の成果を踏まえ、5教科等(国語、社会、算数・数学、理科、外国語活動・外国語)について、各教科等の特性を踏まえた「分かり方の特性」を生かした指導の手だてについて講義をします。各教科等における授業改善の視点について、演習を通して理解を深めます。

- ① 研究概要 (5分)【講義】
- ② 各教科等における「分かり方の特性」を生かした指導の工夫に関する説明 (10分)【講義】
- ③ 各教科等における指導に関する演習 (30分)【演習】

主な対象

小学校・中学校・義務教育学校・中等教育学校（前期課程）・特別支援学校

《問合せ》

研修部教育開発課
03-5802-0319

【モデルプラン4】 学校全体で取り組む カリキュラム・マネジメント

こんなとき

- 教科等や学年を超えた組織運営の改善を図りたい。
- 特色ある教育課程を編成したい。

研修内容

平成 30 年度教育課題研究「社会に開かれた教育課程を実現するカリキュラム・マネジメント-つながりを重視した学校の特色づくりを通して-」の成果を踏まえ、カリキュラム・マネジメントの考え方について講義をします。また、特色のある教育課程の編成等の推進について、演習を通して理解を深めます。

- ① 研究概要(カリキュラム・マネジメントの定義と導入について/実践事例) (10分)【講義】
- ② カリキュラム・マネジメントに関する意識及び取組の向上に関する演習 (35分)【演習】

主な対象

小学校・中学校・義務教育学校・中等教育学校・特別支援学校

《問合せ》

研修部教育開発課
03-5802-0319

教員の授業力向上のために

【モデルプラン5】

一人1台の 学習者用端末の活用

こんなとき

- 一人1台の学習者用端末を活用した授業に関する国及び都の方針について知りたい。(教育の情報化に関する手引、TOKYOスマート・スクール・プロジェクト等)
- 一人1台の学習者用端末を活用した実践事例について学びたい。

研修内容

令和4・5年度に実施した「一人1台の学習者用端末の効果的な活用のための研修」を基に、一人1台の学習者用端末の活用について、講義・演習等を通じて学びます。

- ① 教育のデジタル化に向けた国及び都の方針等
【講義】
- ② 一人1台の学習者用端末を活用した実践事例の紹介
【講義・演習】
(60分)

主な対象

小学校・中学校・義務教育学校
中等教育学校・高等学校・特別支援学校

《問合せ》

研修部専門教育向上課
03-5802-0297

【モデルプラン6】

小学校段階における プログラミング教育の推進

こんなとき

- プログラミング教育の趣旨や育成すべき資質・能力について知りたい。
- プログラミング教育を、年間指導計画等の中でどのように位置づけたらよいか知りたい。
- プログラミング教育の授業例を学び、自分の授業実践に生かしたい。

研修内容

平成31年度(2019年度)教育課題研究「児童の情報活用能力の育成(2年次)」の成果を踏まえ、プログラミング教育の趣旨や授業実践例等について講義を行います。また、プログラミング教育の全体計画を作成する演習を通じて、プログラミング教育について理解を深めます。

- ① 児童の情報活用能力の育成についての研究概要 (10分)【講義】
- ② 各教科等におけるプログラミング教育の実践事例 (25分)【講義】
- ③ 全体計画、年間指導計画の作成方法 (25分)【演習】

主な対象

小学校・義務教育学校(前期課程)
小学校に準ずる教育課程を編成している特別支援学校(小学部)

《問合せ》

研修部教育開発課
03-5802-0319

教員の授業力向上のために

【モデルプラン7】

学習者用デジタル教科書を 活用した授業の理解と実践

こんなとき

- 学習者用デジタル教科書と指導者用デジタル教科書の違いを知りたい。
- 学習者用デジタル教科書の機能を教えてほしい。
- 学習者用デジタル教科書を使った授業について知りたい。
- 学習者用デジタル教科書とICT機器等を連動させた授業について知りたい。

研修内容

令和4年度(2022年度)教育課題研究「小・中学校における学習者用デジタル教科書等を活用した学びの追究に関する研究(2年次)」の成果を踏まえ、学習者用デジタル教科書の概要や、授業実践例等について演習を行います。また、学習者用デジタル教科書を活用した学習指導案の作成を通して、授業における使い方の理解を深めます。

- ① 学習者用デジタル教科書の概要
(10分)【講義】
- ② 学習者用デジタル教科書を活用した授業の実践事例
(10分)【講義】
- ③ 学習者用デジタル教科書を活用した学習指導案の作成
(35分)【演習】

主な対象

小学校・中学校・義務教育学校
中等教育学校・特別支援学校

《問合せ》

研修部教育開発課
03-5802-0306

【モデルプラン8】

「特別の教科 道徳」の 指導の充実

こんなとき

- 「特別の教科 道徳」の趣旨や、教科化に伴い、変わったところ変わらないところの内容を知りたい。
- 「特別の教科 道徳」の指導や評価の在り方について学びたい。
- 「特別の教科 道徳」の具体的な授業例等について知り、実践したい。

研修内容

平成30年3月に各学校に配布した「道徳科 指導と評価のガイドブック」を基に、「特別の教科 道徳」についての指導や評価の在り方等について、講義・演習等を通じて実践的に学びます。

- ① 「特別の教科 道徳」の趣旨を踏まえた指導と評価の在り方の研究概要の説明
(30分)【講義】
- ② 評価に関する資料の説明及び協議等
(30分)【講義・演習】

主な対象

小学校・中学校・義務教育学校
中等教育学校(前期課程)

小学校・中学校に準ずる教育課程を編成している特別支援学校

《問合せ》

研修部教育開発課
03-5802-0306

子供たちの未来のために

【モデルプラン9】 高等学校における生徒の 認知特性に応じた指導の工夫

こんなとき

- 多くの生徒に基礎的・基本的な知識・技能などを確実に習得させたい。
- 生徒一人一人の得意とする学び方や理解の仕方について知りたい。
- 授業の中でどのような指導の工夫を図ればよいのか知りたい。

研修内容

学習において得意な学び方や理解の仕方（認知特性）は生徒一人一人によって異なることを踏まえ、それぞれの得意な学び方を生かした授業方法を学びます。

- ① 認知特性の基本について
(5分)【講義】
- ② 生徒の認知特性の把握の仕方
(10分)【講義】
- ③ 生徒の認知特性を生かした指導の工夫
(15分)【講義】
- ④ 生徒の認知特性を生かした実際の授業づくり
(20分)【演習】

主な対象

中等教育学校(後期課程)・高等学校

《問合せ》

研修部教育開発課
03-5802-0319

【モデルプラン10】 自尊感情や自己肯定感を 高める教育の推進

こんなとき

- 自分のよさや可能性が見いだせない子供への対応について知りたい。
- 子供の自尊感情の傾向を把握する方法について知りたい。
- 子供の自尊感情が高まる各教科等の授業を実践したい。

研修内容

令和3年度の教育課題研究「自尊感情や自己肯定感に関する調査研究」の成果を踏まえ、「自己評価シート」及び「他者評価シート」を活用して自尊感情の傾向を把握する方法や、「学習内容」や「指導方法」の工夫という観点から、自尊感情や自己肯定感を高める授業づくりなどについて学びます。

- ① 自尊感情や自己肯定感に関する研究概要
(30分)【講義】
- ② 自己評価、他者評価シートの活用
(30分)【演習】
- ③ 自尊感情や自己肯定感を高める授業づくり
(20分)【演習】

主な対象

幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校
中等教育学校・高等学校・特別支援学校

《問合せ》

研修部教育開発課
03-5802-0319

子供たちの未来のために

【モデルプラン11】 人権教育の効果的な推進と 教職員に求められる人権感覚

こんなとき

- 人権教育の推進や教職員に求められる人権感覚、人権課題について理解を深めたい。
- 人権教育に関する実践や指導事例について知りたい。

研修内容

人権教育の研修の一環として、人権教育についての基本的な考え方や教職員に求められる人権感覚等について理解を深めます。人権教育に関する授業実践等について、講義や演習、DVDの視聴等を通じて実践的に学びます。

- ① 東京都の人権教育に関する基本的事項及び推進について（「人権教育プログラム（学校教育編）」を使用）
(30分)【講義】
- ② 教職員に求められる人権感覚、人権教育の視点を踏まえた授業（演習等）
(30分)【演習】

主な対象

幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校
中等教育学校・高等学校・特別支援学校

《問合せ》

研修部教育開発課
03-5802-0306

【モデルプラン12】 いじめの未然防止、 早期発見・早期対応

こんなとき

- 「いじめ総合対策【第2次・一部改定】」に示された学校におけるいじめ防止を推進するポイントや、具体的な取組について理解したい。
- いじめ防止に向けて、保護者や地域住民、関係機関との連携の在り方について知りたい。

研修内容

「いじめ総合対策【第2次・一部改定】」の内容を踏まえ、「いじめ問題」の未然防止、早期発見、早期対応、重大事態への対処のための具体的な取組について講義します。また、「教員研修プログラム」、「保護者プログラム」、「地域プログラム」を活用した演習等を通して、学校のいじめ防止の取組について理解を深めます。

- ① 「いじめ総合対策【第2次・一部改定】」の概要
(20分)【講義】
- ② 「教員研修プログラム」、「保護者プログラム」、「地域プログラム」を活用した演習等
(40分)【演習】

主な対象

幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校
中等教育学校・高等学校・特別支援学校

《問合せ》

研修部教育開発課
03-5802-0319

特別支援教育推進のために

【モデルプラン 13】 発達障害のある 児童・生徒の理解と支援

こんなとき

- 特別支援教育の基礎知識を学びたい。
- 発達障害のある児童・生徒の学び方を知りたい。
- 学級全体の児童・生徒に対応できるユニバーサルデザインの考え方を取り入れた授業のポイントを学びたい。

研修内容

特別支援教育は全ての学校で行われるものです。通常の学級の教員の皆さんも注意欠陥多動性障害や学習障害等の発達障害の児童・生徒の指導・支援を学ぶことは大切です。

この研修では、発達障害のある児童・生徒の理解と支援方法のポイントについて学びます。

- ① 東京都の特別支援教育について【講義】
- ② 発達障害の心理的疑似体験【演習】
- ③ ユニバーサルデザインの授業【講義・演習】
(60分)

各学校のニーズに応じて、①～④の必要な内容を組み合わせて講座を構成することも可能です。

主な対象

小学校・中学校・義務教育学校
中等教育学校・高等学校・特別支援学校

《問合せ》
研修部専門教育向上課
03-5802-0296

【モデルプラン 14】（新規） 発達障害のある児童・生徒の 実態把握に基づいた自立活動 の指導の充実

こんなとき

- 児童・生徒の実態や困難さの背景にある要因を的確に把握したい。
- 児童・生徒の特性に応じた目標達成のために、自立活動の授業を充実させたい。
- 特別支援教室（通級による指導）と在籍学級との連携により、指導の効果を高めたい。

研修内容

令和5年度（2023年度）教育課題研究「特別支援教室及び通級による指導に関する研究（2年次）」の成果を踏まえ、児童・生徒の強みや学習上又は生活上の困難をチェックリスト等により、的確に把握する演習を行います。また、自立活動の内容6区分27項目についての理解を深め、児童・生徒の実態に応じた自立活動の在り方について理解を深めます。

- ① 特別支援教育をめぐる動向
(10分)【講義】
- ② チェックリストやレーダーチャートを用いた児童・生徒の実態把握
(20分)【演習】
- ③ 自立活動の内容についての理解と自立活動指導事例集に記載された授業モデルの紹介
(20分)【講義・演習】

主な対象

- 小学校・中学校・義務教育学校・中等教育学校の特別支援教育コーディネーター及び巡回指導教員
- 高等学校の特別支援教育コーディネーター及び通級による指導担当教員

《問合せ》
研修部教育開発課
03-5802-0319

校内研修の活性化のために

【モデルプラン 15】（新規） 校内研修ガイドブックを 活用した校内研修の改善

こんなとき

- 主体的に学ぶ教員の育成方法を知りたい。
- デジタルの効果的な活用について知りたい。
- 働き方改革につながる研修時間等を確保する方法を知りたい。
- 校内研修に関する課題の解決方法を知りたい。
又は 解決につながるヒントを得たい。

研修内容

学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、主体的に学び続ける教員が求められています。そのような教員を育成するためには、校内研修の充実が必要です。

この研修では、学校の課題を踏まえた上で、校内研修ガイドブックを活用しながら、効果的な校内研修の実施に向けたポイントについて学びます。

- ①令和の日本型学校教育に基づく校内研修の基本的な考え方とデジタルガイドブックの構成と活用について
【講義・演習】（20分）
- ②（例）効果的な演習や協議の進め方
【事例紹介】（10分）
- ③課題の解決方法等の検討
【演習】（30分）

各校のニーズに応じて、②を複数の内容を組み合わせて構成することも可能です。

主な対象

小学校・中学校・義務教育学校
中等教育学校・高等学校・特別支援学校

《問合せ》

研修部教育開発課
03-5802-0319